



基調講演

フィリピン経済セ ミナー

日本・東京

アルフレド・E・パスクアル貿易産業大臣

フィリピン貿易産業省

2024年6月21日





フィリピンと日本の経済関係： 強固で成長し続けるパートナーシップ



8億 USドル

2022～2023 年の FDI

日本はフィリピンの最大の対外純投資国



207億4,000万 USドル

2023年の商品貿易総額

日本はフィリピン第2位の貿易相手国



私たちのパートナーシップを
強化し、共に成長させるため
の新たな投資機会を紹介い
たします

The background of the slide is a wide-angle, nighttime photograph of a city skyline, likely Manila, Philippines. Numerous skyscrapers and high-rise buildings are visible, many of which are illuminated with lights, creating a vibrant urban scene against a dark sky with some clouds. The lights from the buildings and streets below create a warm, golden glow in the lower half of the image.

戦略的投資優先計画

持続可能性、資源の効率的な利用、環境保護を促進する投資を促進するように設計されています。これは、優先活動を3つの段階に分類しており、各段階では、段階的に延長される減税および控除特典の期間が提供されます。

戦略的投資優先計画

ティアI



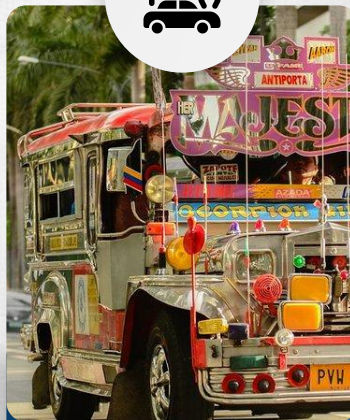
リサイクル



民間資源回収施設



廃水処理



旧公益事業車両の施設



産業用植林地

戦略的投資優先計画

ティアII

+ 電気自動車の組み立て

+ 再生可能エネルギー

+ ウェアラブルソーラーデバイス、
スマートグリッド用集積回路な
どの電子デバイスおよび RE



+ バイオプラスチックとバイ
オポリマ

+ エネルギー効率と保全プ
ロジェクト

+ エネルギー貯蔵技術、
有機農業

戦略的投資優先計画

ティアIII



- AIの研究開発
- デジタルトランスフォーメーション
- データ分析
- バイオテクノロジー



革新的な製品とサービスの
高度な技術による製造



- 知的財産の商業化
- 航空宇宙
- 医療機器
- IoT

ビルド・ベター・モアのインフラプログラム
185 プロジェクト
インフラストラクチャーフラッグシッププロジェクト(IFP)

9兆1400億ペソ相当



物理的なコネクティビティ
134 プロジェクト
PHP8.3T



水資源
29 プロジェクト
PHP 713.8B



デジタル・コネクティビティ
3 つのプロジェクト
PHP 164.8B



保健施設
5つのプロジェクト
PHP 91.9B



農業
9 プロジェクト
PHP 213.6B



電力とエネルギー
1プロジェクト
PHP10.2B



PPP プロジェクトの成功は、
投資家が投資収益を得られ
るよう支援しながら、国民に
サービスを提供する取り組み
を示しています。

外国投資を誘致するために、私たちはいくつかの革新的な改革を実施してきました



新しい官民パートナーシップ規約
プロジェクトの開発と実施に関する利害
関係者の懸念に対処するため



再生可能エネルギー法の施行規則
の修正

太陽光、風力、水力、海洋エネルギープロジェク
トにおいて100%外国資本を認める



JVのガイドライン

手続きを合理化し、競争を推進し、政
府と民間企業との間の協定における抑
制と均衡を強化する

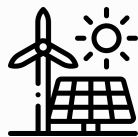


大統領令 18

戦略的投資のためのグリーンレーンを構成する

↑ **390億ペソ**

グリーンレーンされた
74件のプロジェクトの総額



**65件の再生可能エネルギープロジェクト、
環境に持続可能な未来への道をさらに前進させます**



LETS EAT プログラム

**Logistics Efficiency and Transport Seamlessness to Enhance
Agribusiness Trade**

アグリビジネス貿易の強化に向けて物流の効率化と輸送のシームレス化

このプログラムは、貿易、特に食料品の輸送および物流コストの削減を目指しています

トライラテルミーティング 米国、日本、フィリピン 2024年4月



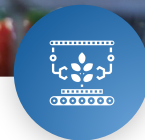
新興ルソン経済地帯における 商業コラボレーション



32億 USD
スービック-クラーク-マニラ-バタン
ガス (SCMB) 鉄道システム



1億7,900万 USD
クラーク国際空港の拡張



1億5,200万 USD
クラーク
ナショナルフードハブ

トライラテルミーティング 米国、日本、フィリピン



オープン無線 アクセスネットワーク (オープン**RAN**)

この柔軟なネットワークは、さまざまなベンダー間のシームレスな統合を促進し、**5G** ネットワークの展開において非常に重要



米国との自由貿易協定(**FTA**)、
フィリピン・日本経済連携協定
(**PJEPA**) の再検討・更新

フィリピンの製品とサービスを米国
および日本市場にアクセスできるよう
求めました



フィリピンでのRCEP実施が日本の投資家を惹きつける

↑ **11.2億 USドル**

RCEP諸国はフィリピンの商品貿易総額の半分以上
(51%)を占め、外国直接投資(FDI)流入に大きく貢献し
た



原産地証明書の自己発行規定により、管理コストが削減され、貿易プロセスが簡素化され、フィリピンでのビジネスが容易になります。





私たちと提携することで、
ダイナミックで拡大する市場
で足場を築くだけでなく、持
続可能で包括的な、
そして豊かな未来に貢献



基調講演

フィリピン経済セ ミナー

日本・東京

アルフレッド・E・パスクアル貿易産業大臣

フィリピン貿易産業省

2024年6月21日

